

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立東三国小	学校	児童数	66
----------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	20.33	20.83	35.33	38.71	53.21	9.21	152.83	26.08	56.43
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	17.92	16.96	38.21	37.29	38.42	9.72	139.38	14.33	54.13
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

各種目の結果より、男子は7種目で全国平均を上回り、女子は5種目で全国平均を上回った。また、体力合計点が男女共に全国平均を上回った。男女共に体力が向上していることがわかる結果となった。

アンケートの結果では、「1週間の総運動時間」が60分未満の割合が男女とも全国平均より少なく、運動する時間が長い児童が多いという結果となった。また、「運動やスポーツをすることは好きですか」という質問に「好き」と答えた児童の割合は男子については全国平均を上回ったが、女子については全国平均と大阪市平均を下回る結果となった。

以上の結果より、男女とも運動に積極的に取り組んでおり、体力も高い傾向にあるが、女子は運動が好きでない児童が多い。今後、どの児童も運動の楽しさが味わえるような授業づくりや取り組みを考え実施していくことで、少しでも運動が好きな児童が増えるよう努めていく。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

昨年度に引き続き、年間3回の運動に関する取り組みを実施した。1回目はC-NETの先生に教えていただいたニュージーランドの「シーウィードゲーム」という遊びをペア学年で行った。異学年で交流しながら異文化にも触れ親しむことができ、よい機会となった。2回目の「なわとび週間」と3回目の「かけ足週間」はこれまでと同じように実施した。児童が意欲的に取り組むよう、なわとびカードやかけ足100周カードを用意した。児童がカードに書かれたなわとびの技を練習したり、運動場を走ってカードに色を塗ったりする姿が増え、運動する機会を多く作ることができた。毎年行ってきたからこそ、今回のような体力の向上に繋がったと考える。また、体育科の学習では、新たな運動に出合ったり、運動の本質的な楽しさを味わえたりするような内容で授業づくりを行った。今年度は専科教員が体育科の授業を担当したので、系統立てたスモールステップの指導を行えたことも運動が好きな児童を増やすことに繋がったと考える。

しかし、女子については運動が好きな児童の割合が全国平均より少なかったため、より児童が運動が好きになるような授業の構成や内容を研究していく。また、校内で授業づくりに関する研修会を積極的にを行い、系統立てた指導ができるように努めていく。